



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月7日

上場会社名 川西倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9322 URL <https://www.kawanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川西 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米井 雄一

TEL 078-671-7931

四半期報告書提出予定日 2023年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,771	19.9	1,068	46.4	1,126	42.3	717	46.7
2022年3月期第3四半期	17,320	9.2	730	112.9	791	88.7	488	8.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,780百万円 (150.7%) 2022年3月期第3四半期 710百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	93.82	
2022年3月期第3四半期	64.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	38,221	21,744	49.4
2022年3月期	36,883	20,080	47.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 18,876百万円 2022年3月期 17,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		8.00		6.00	14.00
2023年3月期		9.00			
2023年3月期(予想)				7.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,940	14.1	900	14.7	980	13.6	570	9.0	74.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,258,322 株	2022年3月期	8,258,322 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	611,575 株	2022年3月期	611,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,646,747 株	2022年3月期3Q	7,639,735 株

(注)自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、各種政策の効果もあり、景気を持ち直しが見られたものの、急激な円安や資源・エネルギー価格の上昇が経済活動、消費活動に大きな影響を与えました。また、世界的な金融引き締めが続く中、海外景気の下振れリスクや中国における感染の拡大による影響など、今後も注視する必要があります。

このような状況のもと当社グループは、2024年度を最終年度とする中期経営計画『Vision2024物流イノベーションへの挑戦』で掲げる、物流センターの機能拡充や運送部門強化、海外物流業務の強化による既存事業の拡大・強化、次世代型物流倉庫の建設や基幹システム再構築の検討など、成長に向けた取組と戦略的投資の調査研究に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間においては、国内物流事業では、貨物の荷動きが依然として好調に推移し、倉庫業、港湾運送業、運送業等の各事業で前年同期を上回り、国際物流事業についても海上運賃単価が安定的に推移したほか、為替の影響や貨物の取扱いも堅調に推移したことにより、営業収益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については前年同期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比19.9%増加の20,771百万円、営業利益は前年同期比46.4%増加の1,068百万円、経常利益は前年同期比42.3%増加の1,126百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比46.7%増加の717百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①国内物流事業

国内物流事業においては、貨物の取扱いが堅調に推移し、倉庫業務においては入出庫高、保管高とも前年同期を上回り、神戸港での港湾運送取扱業務についても前期に引き続き好調に推移したほか、貨物運送取扱業務等も堅調に推移いたしました。また、2021年11月に横浜で稼働した新倉庫の影響もあり営業収益は前年同期に比較して増加いたしました。

その結果、営業収益は前年同期比9.0%増加の15,066百万円となり、セグメント費用は貨物の増加による再保管費用の増加や資源価格の上昇等による電力費の増加、2021年に稼働した新倉庫の減価償却費も増加したことにより、前年同期比9.5%増加の13,922百万円となりました。このためセグメント利益は前年同期比2.4%増加の1,144百万円となりました。

#### ②国際物流事業

国際物流事業においては、輸出入貨物の増加、為替や海上運賃マーケットの影響、海外子会社の業績も堅調に推移したことにより営業収益およびセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は前年同期比68.5%増加の5,405百万円、セグメント利益は前年同期比161.1%増加の507百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業並びに太陽光発電の売電事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比5.3%増加の312百万円、セグメント利益は前年同期比9.7%増加の196百万円となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益や国内及び海外での消費税及び付加価値税の還付等により現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,337百万円増加し38,221百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、長期借入金の返済等により前連結会計年度末に比べ326百万円減少の16,477百万円となり、また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加、円安の影響による為替換算調整勘定及び非支配株主持分の増加により、前連結会計年度末に比べ1,663百万円増加の21,744百万円となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（2023年2月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり2023年3月期の通期連結業績予想を修正しており、営業収益を26,940百万円（前期比14.1%増）、営業利益を900百万円（同14.7%増）、経常利益を980百万円（同13.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益を570百万円（同9.0%増）と予想しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,111,474	5,047,696
受取手形、営業未収入金及び契約資産	3,953,992	4,231,570
その他	986,019	694,057
貸倒引当金	△410	△410
流動資産合計	9,051,076	9,972,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,556,535	11,259,283
機械装置及び運搬具（純額）	1,786,512	1,680,581
工具、器具及び備品（純額）	131,846	185,784
土地	6,287,438	6,385,030
リース資産（純額）	845,252	791,147
建設仮勘定	1,975,056	2,530,651
有形固定資産合計	22,582,642	22,832,478
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	748,157	729,073
無形固定資産合計	2,645,692	2,626,608
投資その他の資産		
投資有価証券	1,092,287	1,169,186
長期貸付金	1,767	1,303
繰延税金資産	56,548	35,759
退職給付に係る資産	183,472	168,221
差入保証金	796,194	803,305
その他	477,882	615,603
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	2,604,553	2,789,780
固定資産合計	27,832,888	28,248,866
資産合計	36,883,964	38,221,781

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,883,675	1,858,652
短期借入金	743,204	1,147,561
リース債務	91,152	92,057
未払法人税等	262,723	203,482
賞与引当金	286,529	93,752
役員賞与引当金	1,178	809
その他	414,174	500,173
流動負債合計	3,682,640	3,896,488
固定負債		
長期借入金	9,722,382	9,107,801
リース債務	296,245	236,086
繰延税金負債	169,160	239,557
役員株式給付引当金	83,794	98,518
退職給付に係る負債	1,155,931	1,199,629
資産除去債務	447,474	450,125
その他	1,246,003	1,249,408
固定負債合計	13,120,991	12,581,127
負債合計	16,803,632	16,477,615
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,898,242	1,907,539
利益剰余金	13,801,191	14,401,872
自己株式	△552,611	△561,908
株主資本合計	17,254,823	17,855,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279,720	342,404
繰延ヘッジ損益	△6,002	60,456
為替換算調整勘定	40,045	557,103
退職給付に係る調整累計額	74,263	60,920
その他の包括利益累計額合計	388,027	1,020,884
非支配株主持分	2,437,481	2,867,775
純資産合計	20,080,332	21,744,165
負債純資産合計	36,883,964	38,221,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	17,320,012	20,771,838
営業原価	14,912,936	17,809,319
営業総利益	2,407,075	2,962,519
販売費及び一般管理費	1,677,070	1,893,755
営業利益	730,005	1,068,763
営業外収益		
受取利息	47,539	22,200
受取配当金	25,197	27,155
不動産賃貸料	10,480	14,189
為替差益	2,242	20,078
その他	18,457	15,506
営業外収益合計	103,918	99,130
営業外費用		
支払利息	42,249	41,690
営業外費用合計	42,249	41,690
経常利益	791,673	1,126,203
特別利益		
固定資産売却益	5,416	1,153
投資有価証券売却益	—	1,577
補助金収入	6,192	4,925
特別利益合計	11,609	7,656
特別損失		
固定資産売却損	226	—
固定資産除却損	505	1,537
投資有価証券売却損	—	1,348
環境対策費	240	—
事務所移転費用	7,573	—
外国付加価値税等	5,917	1,352
その他	807	—
特別損失合計	15,270	4,238
税金等調整前四半期純利益	788,012	1,129,621
法人税、住民税及び事業税	228,697	343,668
法人税等調整額	51,584	44,537
法人税等合計	280,282	388,205
四半期純利益	507,729	741,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,808	23,984
親会社株主に帰属する四半期純利益	488,920	717,431

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	507,729	741,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,551	62,683
繰延ヘッジ損益	△16,798	66,458
為替換算調整勘定	298,762	923,368
退職給付に係る調整額	△14,927	△13,342
その他の包括利益合計	202,485	1,039,167
四半期包括利益	710,215	1,780,583
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,869	1,350,289
非支配株主に係る四半期包括利益	144,345	430,294



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	13,827,906	3,208,654	17,036,561	283,451	17,320,012	—	17,320,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	12,963	12,963	△12,963	—
計	13,827,906	3,208,654	17,036,561	296,415	17,332,976	△12,963	17,320,012
セグメント利益	1,117,317	194,347	1,311,665	178,825	1,490,490	△760,485	730,005

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△760,485千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△759,043千円及びその他の調整額△1,441千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	15,066,288	5,405,443	20,471,732	300,106	20,771,838	—	20,771,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	11,903	11,903	△11,903	—
計	15,066,288	5,405,443	20,471,732	312,009	20,783,741	△11,903	20,771,838
セグメント利益	1,144,131	507,495	1,651,626	196,241	1,847,868	△779,104	1,068,763

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△779,104千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△777,645千円及びその他の調整額△1,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。